

フランス詩を用いたフランス語学習 WEB サイト

「ぽえふら」の設計と構築

廣田大地^{*1}

Design and Construction of "Poefra", French learning WEB site using the French poetry

Daichi HIROTA^{*1}

どのような分野であれ学習 WEB サイトやアプリの開発は少なからぬ資金と労力とを必要とする。その問題を解決するための試みとして、発表者はフランス詩を用いたフランス語学習 WEB サイト「ぽえふら」の開発において、WordPress、Youtube、Quizlet の 3 つの既存システムを活用した設計・構築を行った。それにより初期投資費用が抑えられただけでなく、今後の修正にも臨機応変に対応することができるようになっている。低コストでの学習 WEB サイト開発の一例として、本サイトの紹介を行いたい。

キーワード: フランス語, フランス詩, 学習 WEB サイト, WordPress, YouTube, Quizlet

1. はじめに

1.1 「ぽえふら」とは

「ぽえふら (poefra)」は、詩 (poème : ポエム) を通してフランス語を学習するための WEB サイトであり、本研究の発表者である廣田大地によってその開発が 2014 年より始められた。今後も更なる改良を予定しているが、2016 年 11 月現時点でも、試験的に一般公開を行っている (<http://www.litterature.jp/poefra/>)。

1.2 「ぽえふら」の対象者と目標

本サイトの主な対象者として想定しているのは、自由選択科目や第二外国語としてフランス語を学習している高校生や大学生、さらには教育機関には所属せず個人的にフランス語の学習を行っているような初級レベルの学習者である。文法や会話表現の習得のかたわら、本サイトを通じてフランス詩の魅力に触れることで、フランス語学習のモチベーションをより高めていくことを期待している。また、そのようなフランス語

学習者が、フランス語を用いた芸術としての「フランス詩」そのものへの関心を持つための機会となることも本サイトの目標としている。

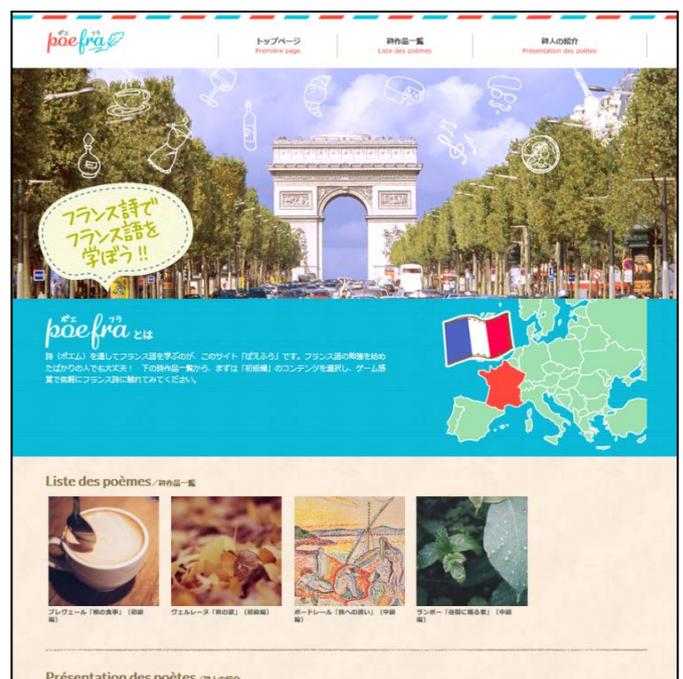


図1 「ぽえふら」トップページ

* 神戸大学 大学教育推進機構 国際コミュニケーションセンター (School of Languages and Culture, Institute for Promotion of Higher Education, Kobe University)

2. 開発の背景と課題、対策

2.1 開発に至った背景

発表者が「ぼえふら」の開発に着手した背景として、フランス詩を紹介するための同種の WEB コンテンツが著しく不足しているという背景がある。

2.2 フランス語学習のための無料 WEB コンテンツ

まず、フランス語学習のための WEB コンテンツに関して概観すると、英語教育関連と比較すればその数は少ないながらも、WEB 上で無料で利用することができるフランス語学習関連のコンテンツは、昨今徐々にその数を増やしてきている。

ただし、その多くは出版社や NHK などの放送局、民間の語学学校などが中心となって作成しているものであり、本質的には教科書やテレビ・ラジオ番組やフランス語クラスでの補助的な役割として位置付けられているため、学習者による自律的な利用を促すものにはなりにくい。また、フランス語を学習する個人によるブログ等のコンテンツも今日では多数みられるようになったが、それ自体がページ閲覧者のフランス語学習のために作られているわけではなく、個人の趣味というレベルを超えるものはほとんど無い。

基本的には、日本におけるフランス語学習のための無料 WEB コンテンツは、大学などのフランス語教員により構築されているものが中心となっている。なかでも草分け的な存在であるのが、岩根久氏による動詞活用練習 WEB ページ「活用虎の穴」である (<http://www.lang.osaka-u.ac.jp/~iwane/katsuyo/>、参考文献 1 参照)。2000 年より運用されている当ページは、インターフェイスの面においてはインターネット黎明期の時代を感じさせるものの、簡潔なシステムの中にゲーム性を取り入れることで、学習者がモチベーションを保ちつつ、フランス語の動詞活用という煩雑な知識を習得できるように設計されている。

他にも、発表者が 2012 年より公開しているフランス語単語練習 WEB ページ「フラ単」(<http://www.litterature.jp/numerique/vocabulaire.html>、参考文献 2 参照)がある。また、無料かつ広告なしで読める詳細なフランス語初級文法解説ページとしては、「北鎌フランス語文法講座」(<http://class.kitakama-france.com>)

も挙げておきたい。

また、近年はフランス語教員によるスマートフォン用アプリの開発も積極的に行われており、その代表的な例として、高垣由美氏による「Le francais diplomatique 外交フランス語」(参考文献 3 参照)や、Ghislan Mouton 氏による「SpotFrench」(参考文献 4 参照)といった iPhone 用アプリがある。ただし、どちらも「外交関連のフランス語学習」と「日本において見られるフランス語の収集」という限定された事項を扱っているため、フランス語初学者の自律的な学習支援という目的をカバーするものではない。また、高垣氏が指摘するように、アプリ開発には「最低でも数十万」、場合によっては「300 万円から 1 千万円もの」(参考文献 5 参照)高額な費用が必要となり、費用対効果の点で大きな課題となっている。

2.3 フランス文学関連の無料 WEB コンテンツ

フランス語教育関連の WEB コンテンツやアプリ開発は、多くの課題を抱えつつも少しずつ成果を挙げているようではあるが、それに対して、フランス文学を主題とした無料 WEB コンテンツの現状はどうだろうか？ もちろん、WEB の飛躍的な普及に伴い、フランス文学関連の情報も、たとえば文学研究者によるブログなどによって以前よりも格段に充実してきていることは明らかである。しかしながら、その多くは既にフランス文学に興味を持ち、ある程度の知識を持っていることを前提とした内容となっており、フランス文学にふと関心を持った若者が「第一歩」を踏み入れるための「入口」となるような受け皿が、現状においては著しく欠けているように思われる。

2.4 対策

以上のような問題意識から、WEB 上においてある程度充実しており需要もあるフランス語学習を入り口としつつ、フランス詩を紹介することで、学習者をさらなるフランス文学についての自主的な学習へと誘うための橋渡しとなるような WEB サイトの構築が必要であるという結論に至った。その際、とりわけ「費用対効果」「操作性とインターフェイス」という 2 点に注意を払うべきであると考えられる。

3. 「ぼえふら」について

3.1 基本方針

開発においては、「費用対効果」の観点から、既存の無料 WEB コンテンツを有効利用し、開発者が一から作り始めるものが可能な限り少なくなるようにした。また同じ理由から、開発後に内容の修正や追加等が容易にできることも重視した。更には、開発者・利用者双方にとって「操作性」が良いこと、質の高いデジタルコンテンツが当たり前となっている「若者のモチベーション」を引き出すために画像・音声の利用が簡便かつ効果的であることも重視した。そのような観点から様々な手法を検討した結果、基本システムは WordPress を用い、そこから Youtube と Quizlet への埋め込み式あるいは外部ページとしてのリンクを多用する方針が定まった。それにより、本質的には単なるリンク集に過ぎないながらも、多様なコンテンツを紹介している WEB サイトの構築が可能になった。ちなみに開発当初においては他にも、QuizGenerator (<https://quizgenerator.net>) という無料かつ優れた外部サイトの利用を検討したが、上記の観点の内、開発後も微調整が容易であるかという点において難があり、今回は利用を見送っている。

とはいえ、ある程度の予算を掛けなければ、開発者の労力のみがひたすら増えていくことになる。そこで、最も「費用対効果」が期待できる領域として、イラスト等のデザイン、レスポンシブデザイン、ゲーム感覚を演出する最低限のギミックという 3 点に特化して専門会社に発注を行うことで、投資費用を抑えつつ、開発者自身の作業時間を短縮させた。「アプリ作成」や「WEB システム構築」ではなく、あくまでも「WEB サイトのデザイン」として発注出来た点が経費削減につながった訳である。

3.2 全体の構成

WordPress のページ構成としては、本稿の冒頭において図 1 で示したトップページに加えて、「作品介绍ページ」×4、「詩人紹介ページ」×4 があり、全てトップページからアイキャッチ画像によるリンクが設置されている。ちなみに、これらのページは今後のサイト改良においても簡単に増やしていくことが可能であ

る。また、対応する作品ページと詩人ページの間にもリンクが貼られているため、学習者はその時々に関心にあわせてページの間を好きな順に進んでいくことができる。2016 年 11 月時点でのコンテンツとしては、以下の 4 つの詩作品を扱っている。

表 1 詩作品一覧

作品名	詩人	難易度	問題数
朝の食事	プレヴェール	初級	2+2
秋の歌	ヴェルレーヌ	初級	2+2+2
旅への誘い	ボードレール	中級	3+1+2
谷間に眠る者	ランボー	中級	3+3+2

3.3 詩人の紹介

「詩人の紹介」ページでは、下の図 2 のように、各詩人について簡潔な紹介文を掲載している。たとえば詩人ジャック・プレヴェールについての紹介では、映画『天井桟敷の人々』や歌曲「枯葉」など、WEB 上でも比較的情報が得やすい有名な事項を紹介し、また該当する Youtube ページへのリンクを掲載することにより、関心を持った利用者が更なる自主的な学習活動へと向かえるように配慮してある。



図 2 詩人の紹介ページ

3.4 詩の解説と導入

本 WEB サイトの中核をなしている「詩の解説」ペ

ージでは、次の表 2 のような順で項目を設置している。

表 2 詩の解説ページ内の項目例

ボードレールとは？	
「旅への誘い」について	
	詩の情景をしてみよう
	詩の朗読を聴いてみよう
	フランス語テキスト
練習問題をやってみよう！	
	ステップ 1 「単語を覚えよう①」
	ステップ 2 「単語を覚えよう②」
	ステップ 3 「音で遊ぼう」

レイアウトは WordPress を用いていることもあり、下の図 3 のようなブログ風の様相になっている。



図 3 詩の解説ページ

コンテンツの並べ方としては、いきなりフランス詩の原文や和訳を提示するのではなく、その準備段階として映像・音声・画像等の情報により、詩のイメージを

得てもらう。幸い、本サイトで扱っているような有名なフランス詩に関しては、その朗読や、さらには詩の情景を映像化した動画などが Youtube 上に多数公開されている。そのようなコンテンツを提示して、利用者にイメージをつかんでもらった上で詩の原文と和訳を提示している。

他にも WordPress のプラグインを活用して、「Q. この動画を見て、詩の雰囲気が伝わってきましたか？ A. 伝わってきた！ / 少し伝わったかも！ / まだあんまり・・・」のような簡単な投票機能をつけることで、完全に受動的になるのではなく、利用者も多少なりとも主体的に参加できるようにしてある。

そのようにして、詩に関する比較的親しみやすい情報を提示することで、詩そのものを学習するための動機づけを行ったうえで、利用者は詩の中で用いられているフランス語の単語や表現の学習のための「課題ページ」へと移ることになる。

3.5 課題ページ

この課題ページは、スマートフォンによる利用者に対してあたかも「クイズアプリ」のような印象を与えられるよう、「詩人の紹介」「詩の解説」ページとはデザインを異なるものにし、可能な限りスクロール無しで全てのコンテンツがスマートフォンの 1 画面内に表示されるようにしてある。



図 4 課題ページ (クリア前)

画面には2つ、または3つの課題が表示される。

機能としては単なる Quizlet へのリンク集に過ぎないのだが、アニメーションの付いたゲージと組み合わせることで、挑戦すべきタスクとして利用者に認識してもらうことを狙っている。またゲージが満杯になると図5のようなクリア画面に移るという演出により、達成感を得られるようにしている。とはいえ、本質的には単なるリンク集であるために、利用者が実際にリンク先の Quizlet の課題を最後まで行ったかを確認することはできない。しかしながら、本サイトの主な目的はフランス語とフランス詩に親しんでもらうことであるため、利用者の作業内容を評価する必要は特に無いと考えている。



図5 課題ページ(クリア後)

3.6 Quizlet ページ

フランス語の学習という観点からすると、本サイトの中核をなしているコンテンツは、Quizlet によるフラッシュカード、マッチング、スペル入力の各モードである。「ぼえふら」の作成に合わせて発表者により各

コンテンツの作成も行われた。3つのいずれのモードにおいても、フランス語と日本語の文字情報だけでは単調であり、利用者にとってモチベーションを維持することが難しい。そこで各コンテンツに単語に対応した画像を付けることで利用者の視覚を刺激するようにしてある。Quizlet による問題作成はもちろん無料であり、著作権に抵触しない画像も準備されているため、問題作成者はそのリストから自分の意図にあったものを検索し使用することができる。ただし、より多くの画像を利用したい場合には、年間40ドル程度の有料会員登録が必要になる点を補足しておきたい。

以下に、各モードの画面の例を示しておく。



図6 Quizlet フラッシュカードモード

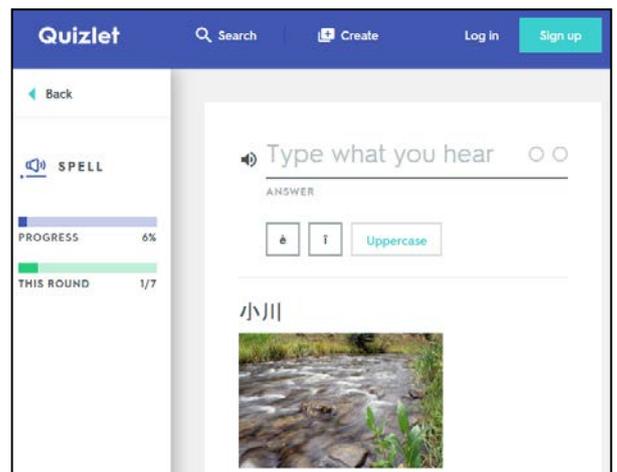


図7 Quizlet スペル入力モード



図8 マッチングモード

4. おわりに

学習 WEB サイト「ぼえふら」を紹介した本発表は、専門的なプログラミング知識の有無に関わらず、低コストかつ短期間で、ある程度の水準のインターフェイスを備えた学習 WEB サイト作成の具体例を提示することを一つの目標としている。本発表により、同じような試み、あるいは更なる効率化を実現するための試みが行われれば幸いである。

また、この「ぼえふら」は、現時点では試行段階に過ぎないものである。今後も、様々な分野の教育者・研究者によるアドバイスをもとに、さらなる改良やコンテンツの充実化を目指していきたい。

謝辞

本研究は JSPS 科研費 JP26770119 の助成を受けたものです。

参考文献

- (1) 岩根久「「活用虎の穴」開設 10 年に事寄せて」
『e-Learning 教育研究』5号, pp. 40-43 (2010)
<http://ci.nii.ac.jp/naid/110009832667> (2016年11月5

日確認)

- (2) 廣田大地「フランス語単語練習 WEB ページ「フラ単」を用いた授業運営について」, 『RENCONTRES』29号 pp. 29-32 (2015).
http://www.rpkansai.com/bulletins/pdf/029/029_032_hirota.pdf (2016年11月5日確認)
- (3) 高垣由美「スマートフォンで学ぶ特定目的のためのフランス語 : iPhone アプリ「Le francais diplomatique 外交フランス語」開発」*Revue japonaise de didactique du français*, 9(1&2), pp. 113-123 (2014)
<http://ci.nii.ac.jp/naid/110009949566> (2016年11月5日確認)
- (4) Ghislan Mouton, "Diverses utilisations de l'application smartphone Spotfrench : Cartographie du paysage linguistique français, éveil aux langues et motivation", *L'enseignement du français en Asie de l'Est à l'heure de la glocalisation*, Actes du colloque SJDF-SCELLF-ATPF (2017 掲載予定)
- (5) 高垣由美「iPhone アプリケーションによる外交フランス語教材 - 失敗から学ぶアプリ開発 -」, 『RENCONTRES』28号 pp. 84-88 (2014).
http://www.rpkansai.com/bulletins/pdf/028/084_088_takagaki.pdf (2016年11月14日確認)